



当地には、輸出を伸ばしている企業が数多く存在する。為替相場の動向は気になるだろう。田高が進行すると、外貨建ての契約は、

「安全な円」が買われると利益が上がる。本場に安全という構図が指摘される。対極に位置づけられる「リスク資産」は、リスクが大きい分だけ、期待される収益も低い。それでも円が安全

田高が進行するに連れ、外貨建ての契約は、また損失が大きいという

### 「安全な円」と付き合う 竹内 淳

う。田建て契 国の通貨などを指す。約の場合で

も、現地通貨に換算した価格が上昇し、競争上不利となってしまう。

円は、しばしば「安全資産」と称される。市場で投資家の不安心理が高まると

去の経験からだ。2000年代前半、低金利の円で資金を調達し、高利回りの外貨建てリスク資産に投資する動きが市場で拡大し、円安が進んだ。リーマンショック後にリスク資産が価値

めたら、すぐに買えば良い。買われ、値上がりするの

き揚げられて、急激な円高につながった。市場混乱時に円を買えば、利益が生まれるという必勝図式は、以前より存在したが、このときに強化されてしまった。

こうしたレトリックは、しばらく剣がれまい。「安全な円」と付き合っていかなるを得ないのだ。だからこそ、いつまた来るかもしれない円高に常備より備えておきたい。中長期的に重要なのは、まねできないユニークな製品を作り出すことだ。山梨企業の挑戦と可能性に期待したい。

(日本銀行甲府支店長)